

農林水産大臣賞

ほりこししゅうらく

堀越集落（福島県田村市）

「堀越集落」では、生産組合の構成員の高齢化や担い手不足による遊休農地の増加等の課題から、持続可能な集落営農の仕組み作りが急務となっていた。



堀越集落の皆さん

これら集落の課題解決のため、ワークショップや先進地視察を行いながら検討を重ね、非農家を含めた住民が参加しやすく地域全体で取組めるよう、集落営農の公益部門と営利部門を分けた「法人2階建て方式」で再編成することとし、公益部門を担う「一般社団法人ほりこし創生会」と営利部門を担う「株式会社ほりこしフォーライフ」を設立した。現在、それぞれの組織で役割分担を行いながら、地域が抱える課題に対して取り組んでいる。

「ほりこし創生会」は、堀越地区住民(非農家含む)全戸が会員であり、農地中間管理事業の活用による農地の利用調整や地区の各行政区や老人会等と協力して農道・水路等の環境保全活動を行い、地区住民とともに農村環境の維持に取り組んでいる。

「ほりこしフォーライフ」は地区の水田の約6割を借り受けて中心的な担い手として営農し、遊休化した畑への牧草栽培を受託するなど、遊休農地解消にも取り組んでいる。また、農産物の加工にも取り組み、地元産コメを原料に発酵させた調味料「三五八」の加工販売を行っている。さらに、次世代の担い手の育成に向け、世代間交流を継続的に行いながら、地域農業を支える重要な役割を担っている。



環境保全活動の様子



遊休農地を活用した
牧草栽培



地元産コメを加工した
調味料「三五八」